

第38回境町少年スポーツ大会開催～繰り広げられる真夏の熱戦～



真夏の厳しい暑さが続く8月18日(日)、第38回境町少年スポーツ大会が町民体育館で開催され、各行政区から計30チームが参加し熱戦が繰り広げられました。この大会は、小学生の心身の健全育成を図り、行政区間の交流や親睦を深めることを目的として、境町スポーツ協力委員会と境町教育委員会が主催する綱引き大会です。

大会結果

優勝 松岡町1区Aチーム	準優勝 若林蓮台チーム	第3位 松岡町1区Bチーム	第3位 旭町Aチーム
------------------------	-----------------------	-------------------------	----------------------

7/30~8/1

「さかい元気っ子クラブ」千葉県富津市でシーサイドキャンプを実施

町内の小学校5・6年生を対象に、夢を持ったたくましい子どもを地域で育てることを目的とした「さかい元気っ子クラブ」では、千葉県富津市営キャンプ場において、5年生の参加による二泊三日のシーサイドキャンプを実施しました。

天候にも恵まれ、キャンプ場ではテント設営や野外炊飯を行い、海では地曳網や海水浴、潮干狩りを楽しみました。今年初めて取り入れた地曳網では、真鯛やアジ、タコなどたくさん獲ることができ、夕飯のBBQで調理をし、皆で美味しく食べました。

参加した88名(5年生)の子ども達は、日常生活では経験することのできない野外炊飯やテント生活などを体験し、一段とたくましくなりました。また、境町高校生会 CLOVER もボランティアスタッフとして参加し、子ども達をサポートしました。



隠し味はソースとトマト!

大漁! 地曳網体験

カレーコンテスト優勝チーム

快晴のなかでの海水浴

海苔づくり体験

夕飯は美味しいBBQ

8/25

第19回 利根川いかだレース選手権 2019 in さかい いかだ部門 28 チーム・ゴムボート部門 33 チーム、合計 61 チームが参加!

利根川いかだレースが開催され、いかだやゴムボートで総距離約10キロの川下りを楽しみました。スピード部門では、「山神町鳥仙号」が山神町からの参加チームとしては、5連覇を達成。ゴール地点のイベント広場では、鮎のつかみ取りや泡のプール等、子どもたちの楽しい笑い声が響くアトラクションが充実。各種出店にもぎわう会場となりました。

い
か
だ
部
門

接戦による熱きレースを制したのは?

1位 山神町 鳥仙号 57分40秒 受賞コメント 一緒にいかだに乗るはずだった、天国の先輩へはなむけができて、涙が出るほどうれいす。負けられない戦いでしたが、優勝できたのは、亡き先輩が背中を押してくれたからです。	2位 境町商工会青年部 58分00秒 2位は悔しいですが、去年16位だったので、躍進しました。ラストパートで頑張りました。	3位 狛江ハートフルおやじ号 58分03秒 はじめてのコース、10kmという長さ、悔しい思いもありますが、楽しく漕ぐことができました。
1位 カーペンズ 1時間12分51秒 初参加でしたが、夫婦の呼吸があつてこそその結果だったと思います。来年も参加したいです。	2位 むぎ茶 1時間12分52秒 去年に続き、カップルで参加しました。今年は水かさも多く漕ぎやすかったです。来年こそは1位を取りたい!	3位 マッシュメロズ 1時間19分40秒 小6の息子と参加しました。息子が諦めずじっと漕ぎ続けてくれたので、その頑張りのおかげです。

ユーモア賞
森戸郵便局 境トリニタス
サポーターとして、境トリニタスのPRをすべく、応援歌を歌いながらゴールしました。

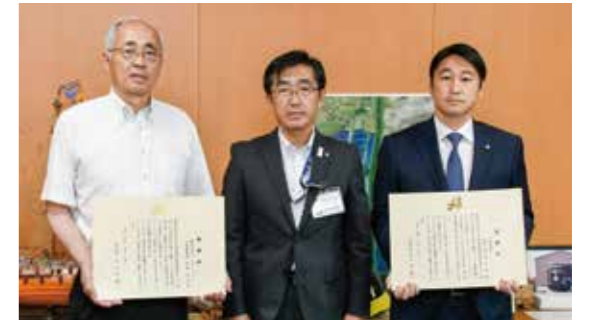
8/1

北海道胆振東部地震被災地支援 境町とアーキビジョン21に北海道安平町から感謝状が贈られました

町では、昨年9月の北海道胆振東部地震によって、自宅を失い営農が困難となった北海道・安平町の農家に、モバイル住宅を2年間無償で貸与する支援を行っています。自宅が被災した場合、応急仮設住宅は市街地に建てられるため、郊外に住む農家も移り住む必要があります。しかし、毎日市街地から郊外の畜舎などに通う負担が大きいと、自宅周辺で車で寝泊まりしながら仕事をする農家への支援を実施しています。

今回の支援では、町と昨年10月に包括連携協定を締結した新築戸建て並みの断熱性と耐久性を持つコンテナ型の木造プレハブ住宅「スマートモデューロ」を製造する(株)アーキビジョン21(本社北海道千歳市、丹野正則社長)と連携し、コンテナ型木造プレハブ住宅の移設・レンタルに係る資金集めを境町がふるさと納税のクラウドファンディングを活用して集め、震源地に近い安平町早来守田地区など、農家8戸に(株)アーキビジョン21が設置を行いました。

このような支援が評価され、北海道安平町より「安全な避難生活を送るための特段の支援をした」として、8月1日に贈呈式が開かれ、境町と(株)アーキビジョン21に対し、感謝状が贈られました。



北海道安平町及川秀一郎町長(中央)から感謝状が贈呈された、(株)アーキビジョン21の丹野正則社長(左)と橋本正裕町長



スマートモデューロに住む農家を視察する橋本町長と丹野社長